

(様式 7)

(排出事業者用)

令和 8 年 4 月 9 日

長野県知事 様

令和 7 年度長野県産業廃棄物 3 R 実践協定 実施結果報告書

下記のとおり、産業廃棄物 3 R 実践計画の実施結果報告書を提出します。

協定期間	令和7年度		
会 社 名	猿田建設株式会社		
住 所	〒399-8205 長野県安曇野市豊科5861番地2		
代表者名	代表取締役 猿田 真由美		
業 種	製造業 ・ 建設業		
処理施設 所在地 (処理施設を有する場合)	施設名	所 在 地	
担当部署	土木部		
担当者名	望月 喜代美		
連 絡 先	T E L	026-372-3447	
	F A X	026-372-8040	
	電子メールアドレス	doboku1@saruta-kensetsu.com	
ホームページアドレス	http://www.saruta-kensetsu.com		

1 総排出量、リサイクル量に関する達成状況

※計画策定時に採用した指標で記入してください。

	当年度目標値及び実績値		過年度実績値	
	7 年度目標値	7 年度実績値	6 年度実績値	5 年度実績値
総排出量の推移 (t・kg・m³)	1, 920	11, 349	790	1, 900
リサイクル量の推移 (t・kg・m³)	1, 900	11, 349	790	1, 900
売上高の推移 (円)	570, 000, 000	610, 000, 000	160, 000, 000	280, 000, 000

2 排出抑制、リサイクルのための取組に対する実績

- ① 資材を仕入れる際、余剰品を出さないよう必要数量を見極めている。
- ② 分別・解体により、排出してもリサイクル品にできる状態で処理業者に受け渡している。又、道具等は、修理・メンテナンスを行い、長く使用できる状態を保っている。
- ③ 工事現場の仮設の材料は消耗品とせず、他の現場でリユースできるよう、丁寧に扱い、場所を決めて保管している。又、工事看板は、日付等内容を一部変更し再利用している。
- ④ アスファルトは剥ぎ取りより切削にする等、工法を工夫し、排出量を抑えている。
- ⑤ 解体工事があるとどうしても排出量は多くなってしまうが、優良処理業者や信頼できる業者に依頼することで再生処理できている。

※必要に応じ写真等を添付してください。

3 リサイクル製品使用率（％）

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

製品（材料）種別	当年度目標値		過年度実績値	
	7 年度 目標値	7 年度 実績値	6 年度 実績値	5 年度 実績値
路盤材	96	95	95	90
コンクリート二次製品	35	20	30	10
全 体				